



### 「念ずれば花ひらく」 ～ 私がこの言葉を好む理由 ～

坂村真民氏の詩集「念ずれば花ひらく」から。私の最も好きな言葉の一つです。念願…つまり心の中でこうありたいと願うことは、人生を生きながらえる上での活力。人生の展望を切り開くために不可欠な要素だと思います。もつとも、念願だけではなく、それにふさわしい行動をとる。この行動の中で、念願が決定されてくるということが言えると思います。仏教的には、「念願は人格を決定する。継続は力なり。」として、そこに行動の継続性までも求める視点が示されています。もうひとつ、私がこの言葉を好む理由があります。「念ずれば花ひらく」に続く次のフレーズ。

苦しいとき 母がいつも口にしていた  
 このことばを わたしもいつのころからか となえるようになった  
 そうしてそのたび わたしの花がふしぎと ひとつひとつ ひらいていった

生活が困窮を極め、急逝した父親の代わりとして、母親を強く支えていく。幾多の困難を乗り越えながら甘さを許さない強い自分をかたちづけていった、そんな人生の確かな歩みの中からこそ発せられた言葉だと感じるからです。(寺坂が平成15年度に書いたものを一部改)

### 「追究」と「表現」の段階へ…

： ～ 「学習力」獲得・向上のイメージを～

右図は、「学習力」獲得の概念図です。

今まで指導してきたところの多くは、「習得サイクル」の「予習」と「復習」の部分です。厳密に「学習力」を問えば、この段階でどまっていたは不十分です。「探究サイクル」として「追究」と「表現」への発展部分。つまり、「授業第一」を柱として、自ら考え「探究」し、自分なりの「表現」として整理・体系化を行いたい。一歩踏み込んだ学習に向かいたいものです。(【学習力】向上)中、さて、前回の裏面に付した「年間計画」中、「個別対策」欄を確認してください。「みなさんが、職員室に来て頻繁に質問する環境」は、学習力向上の成果としてのとらえ方です。そのための具体をまとめると、

- ① しっかりと授業を受け、メモする。
- ② しっかりと自分自身で考え、疑問を持つ。
- ③ しっかりと質問に行く。(【追究】)
- ④ しっかりと疑問を解消し、納得する。

… 人間、腑に落ちると【表現】したくなるものです。疑問を解消するためには、洗いざらいの疑問を表面し、徹底的に理解・探究に向かわざるを得なくなりやす。こうなるとしたものです。心置きなく、恥ずかしがらずに、いつでもどうぞ。全教員が待っていますよ。当然、サイクルですから、また「授業」に向かうわけで、一段高く「授業」の内容を見渡せるのですね。

◆ 3 学年で取り組んでいる新聞学習 (「Today's News」【コラムノート】) 等、継続学習を期待しています。今回紹介した「新聞学習シート」も、記入例を読みつつ、うまく活用しましょう！！

### 学習の習得サイクルと探求サイクル

